

鬼の被害に悩まされる
とある村

鬼狩りに鬼退治を
依頼したのだが

この間来て頂いた
鬼狩り様が

村長

未だ
お戻りになりませんで

事情はわかった
直ちに救出、鬼の殲滅に
あたろう

あの強いお姉様が
鬼に後れをとるなんて

名門桐生院家鬼狩り
桐生院 雛

信じられない

きっと何かの
間違いに決まっている

よう小娘
ここからは俺たちの
縄張りだぜ



小鬼か

我が名は
桐生院雛
依頼により貴様らを
討伐する



桐生院？
この間の奴も
桐生院とか言ってたな



やはりお姉様はここに
来ていたのか



さて
どうだったかな

力尽くで聞いてみな
鬼狩り



いいだろう

桐生院の剣技
篤と味わえ

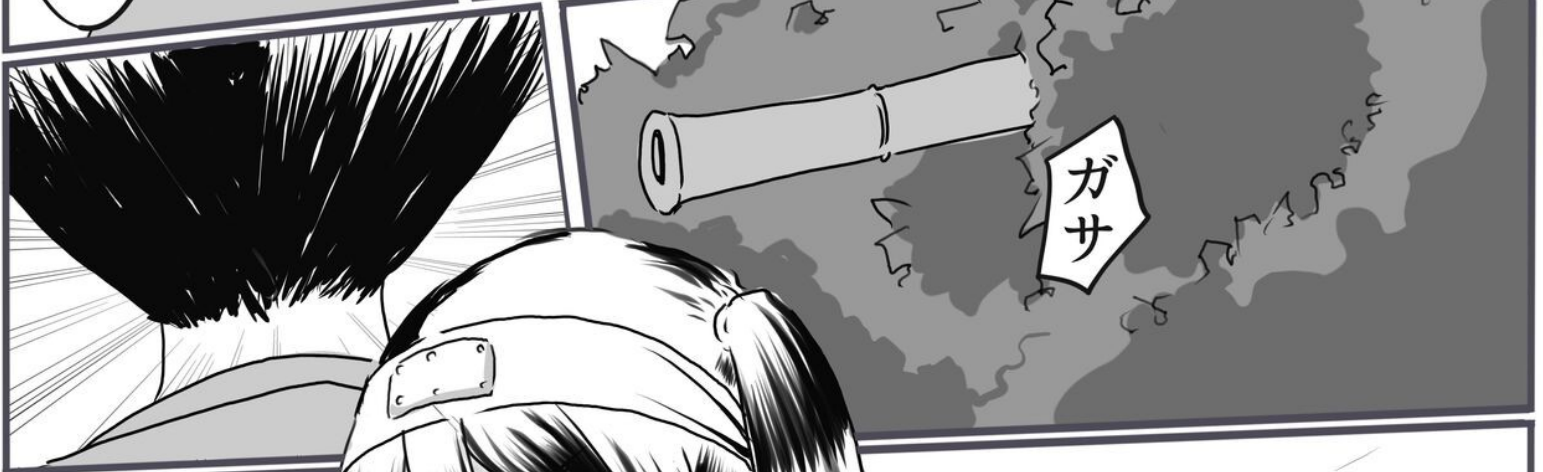




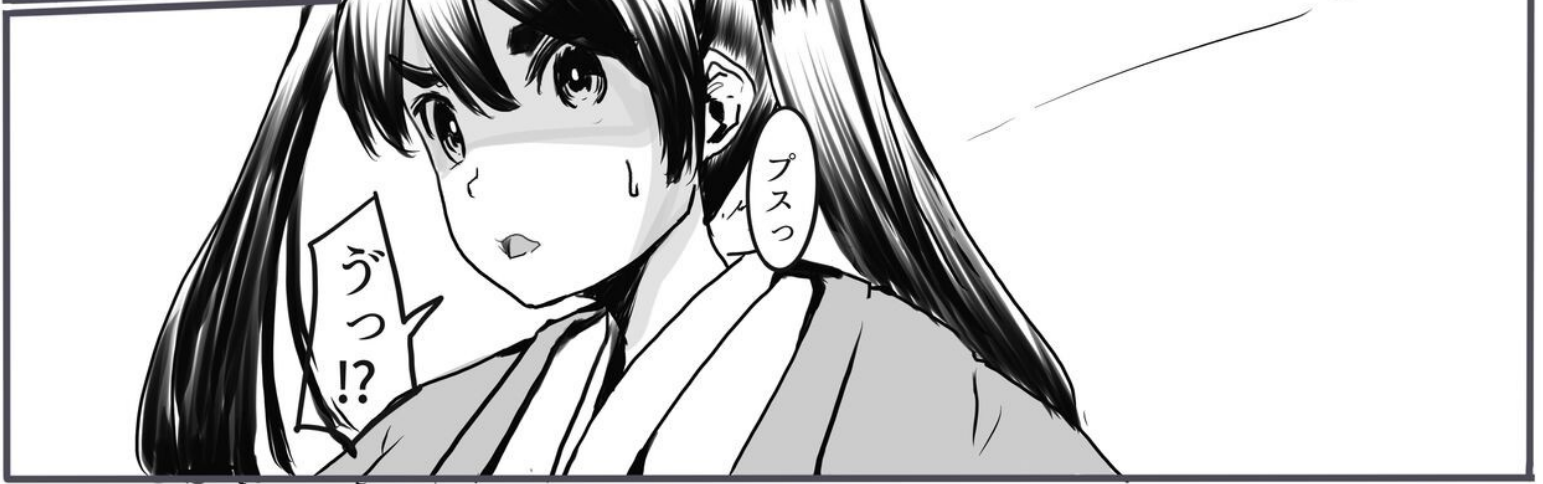
ぐあああ

ぎややああ

たわいのふんない



ガサ



うっ!!?

プスッ



意識が
まづい



毒針!?

しまった
伏兵か



くそつ
小鬼風情に
してやられるなんて

ここで
倒れる訳には



くつ

絶対に・・・助けに・・・



はあ

はあ

お姉様・・・

森の洞窟

おい
起きろ小娘

んっ…

ここは…

ようこそ

俺たちの巣へ

たっぷりと可愛がって
やるよ♡

えっ？

久しぶりの雌だ♡

何を
する!!?
や、
やめろっ

そらっヤロウども
剥いちまえ!

きゃあああ!



よせっ私に触れるなっ!

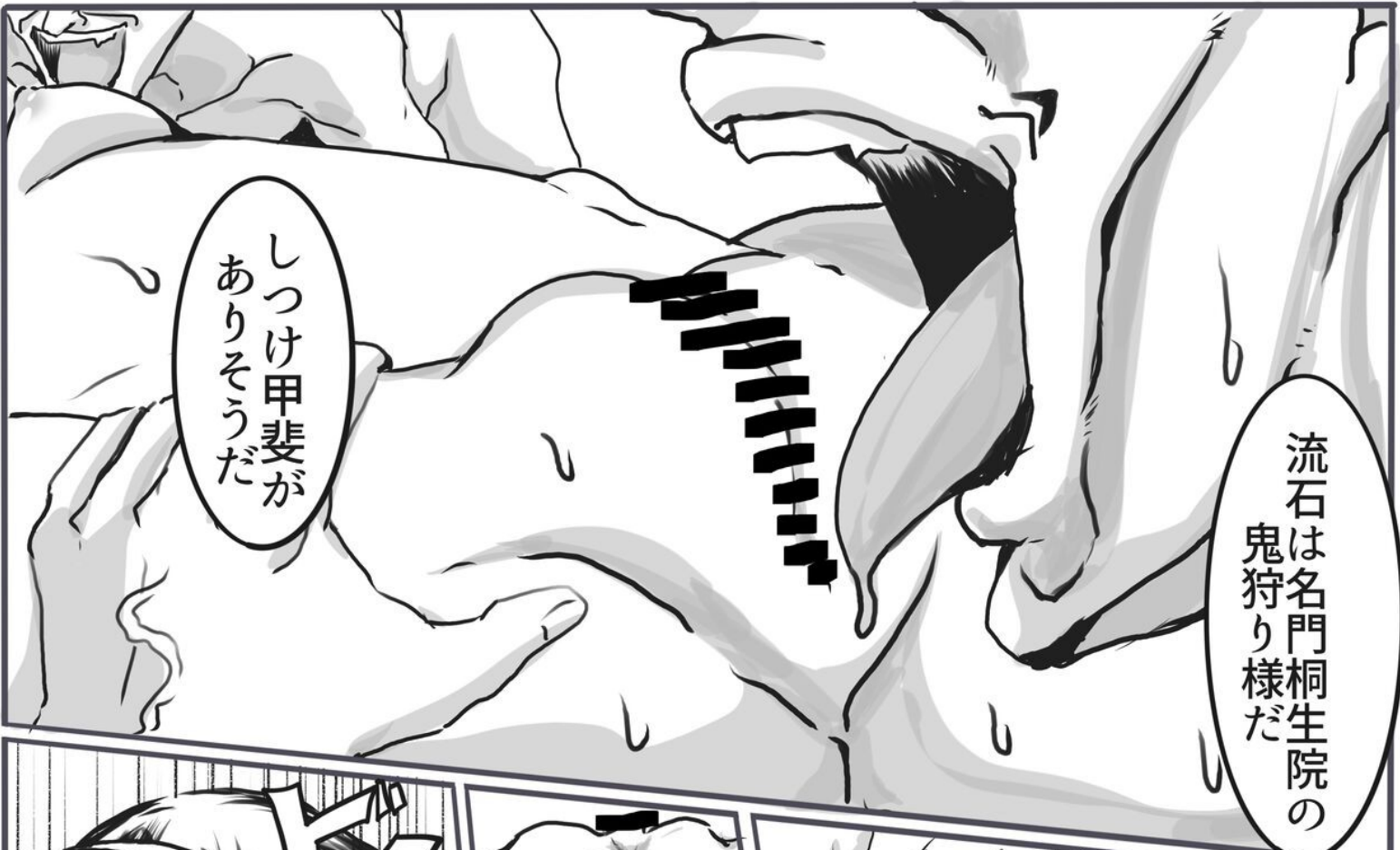
穢らわし鬼め!



ああっ!?

イキがいいな♡

舐めるな!



しつけ甲斐が
ありそうだ

流石は名門桐生院の
鬼狩り様だ



くろう!?



くろう



やつそこはつ

ダメだつ



カリ♡

じつくりと
しゃぶらねー♡



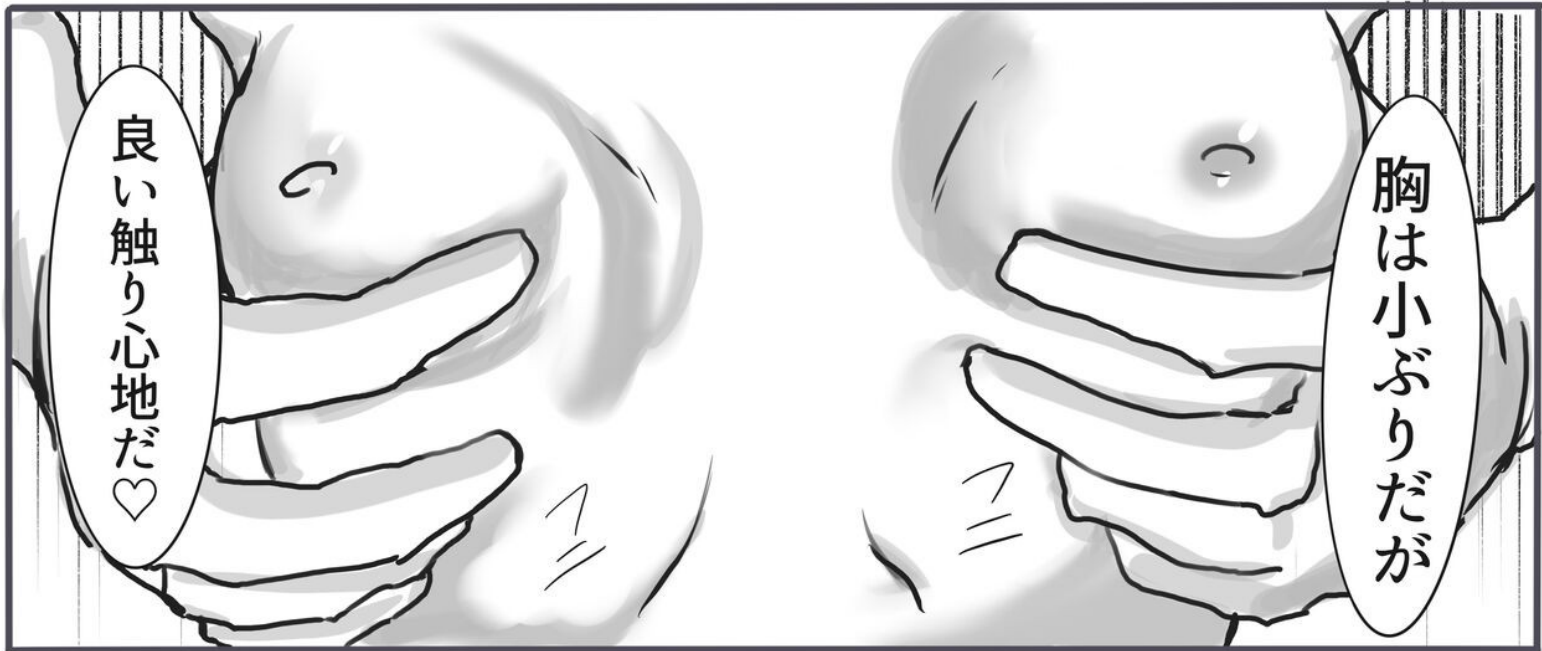
柔っこくって
いい匂いもするな♡

良い雌肉だ♡

ちゅぽ♡

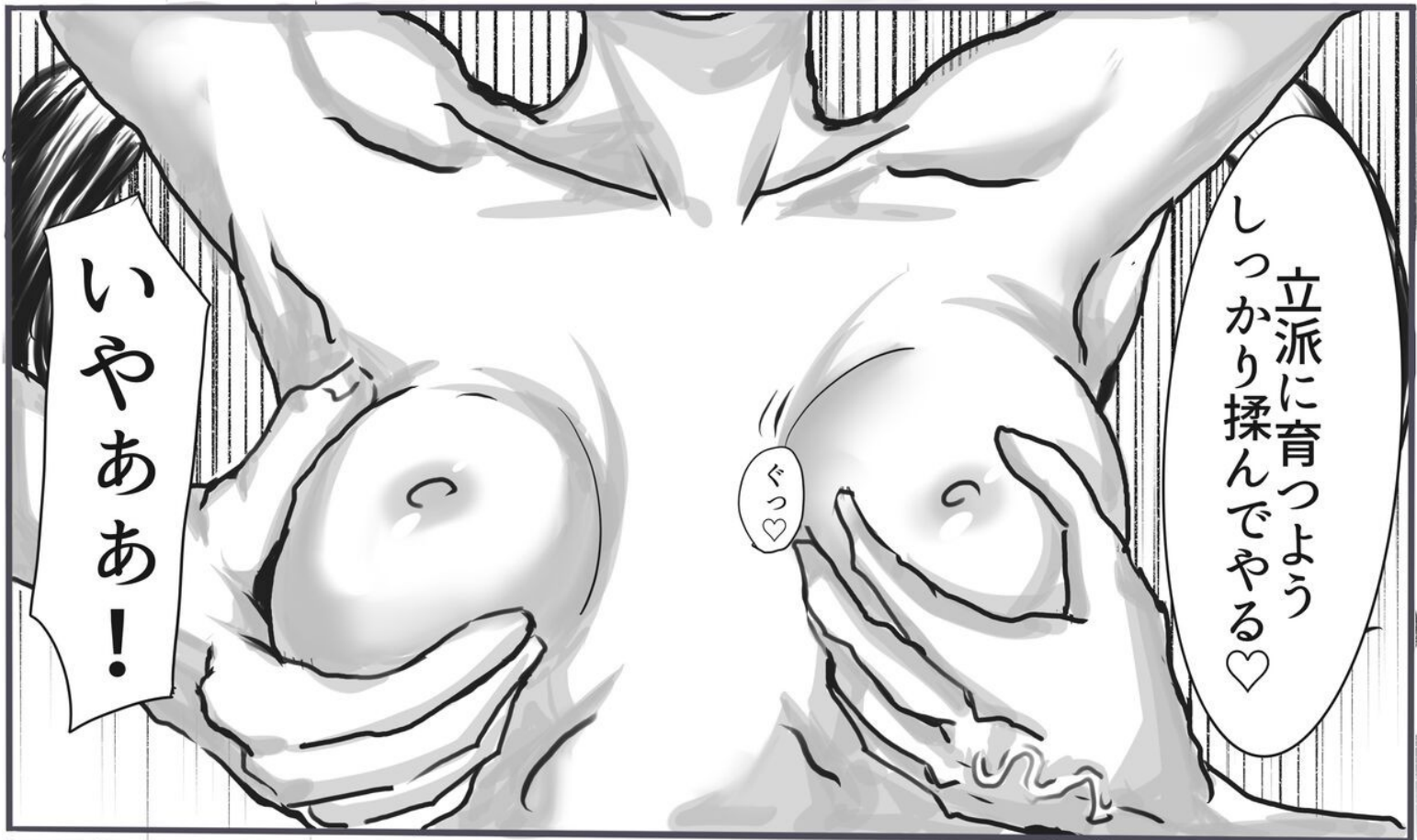
ちゅぽ♡

くっ!



良い触り心地だ♡

胸は小ぶりだが



いやああ!

立派に育つよう
しつかり揉んでやる♡

ぐっ♡



調子に乗って

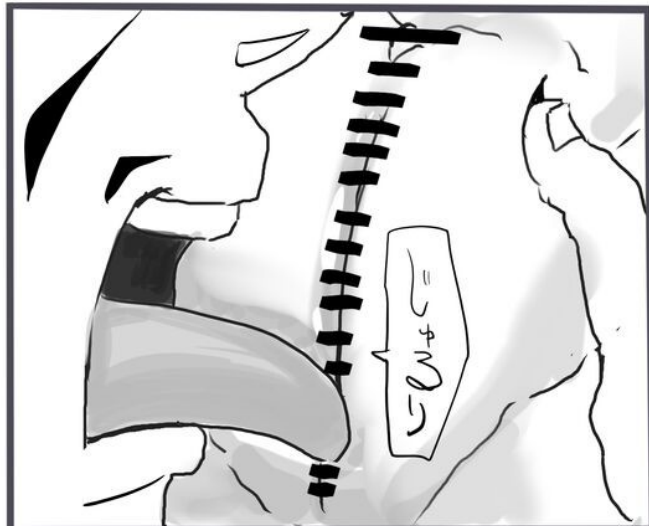
くそつ
小鬼風情が

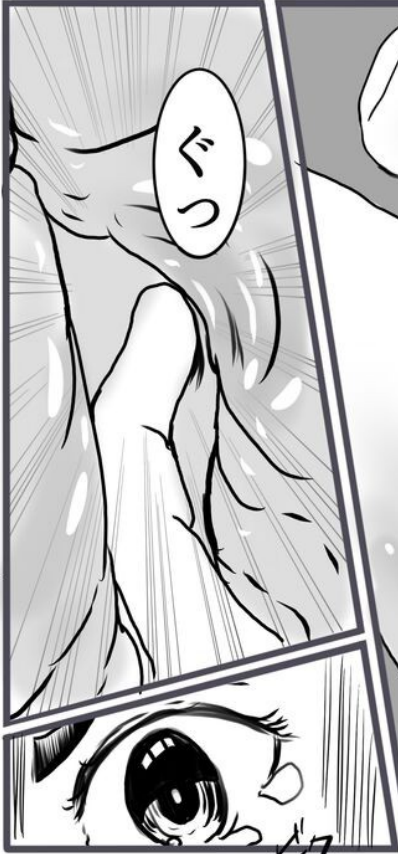
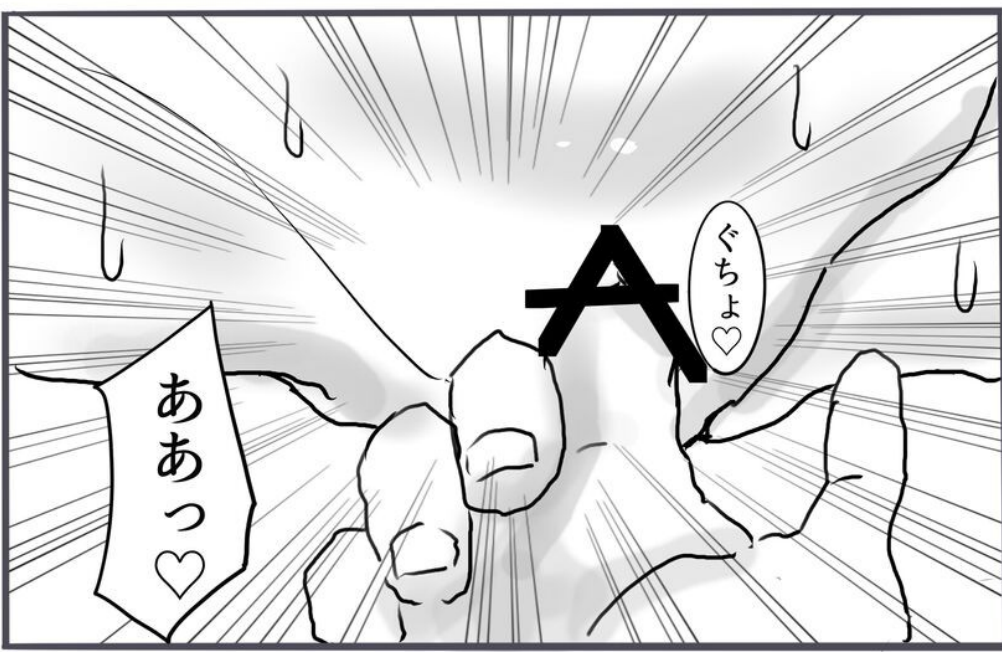
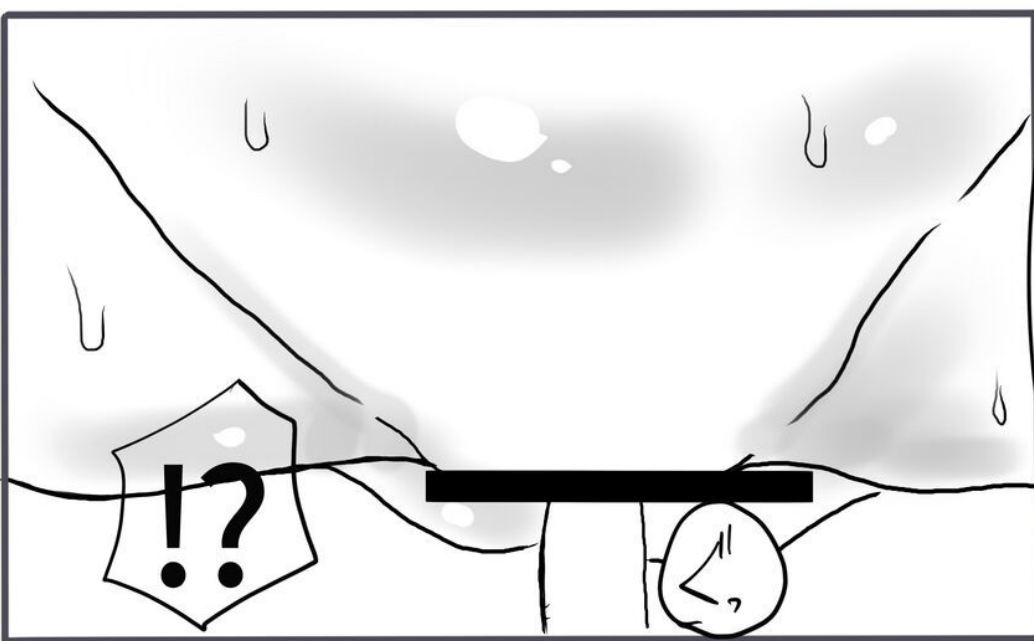
くそっ
なんて数の小鬼だ

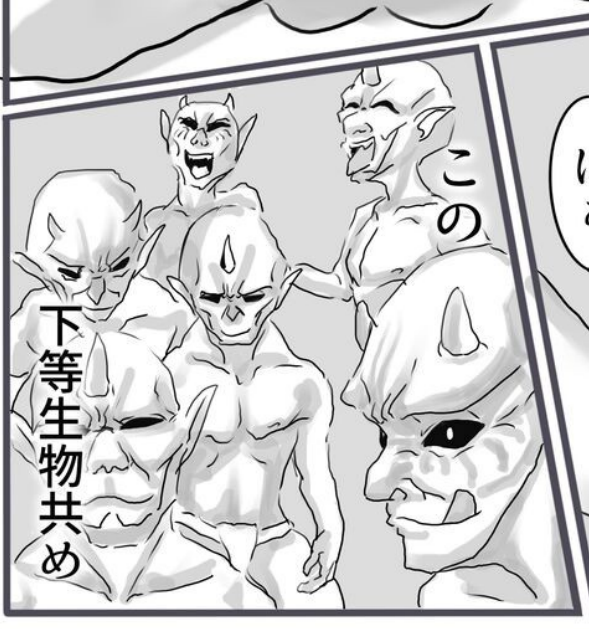
これ程の数が報告
されていらないなんて



絶対におかしい







聞いたか
八代

鬼狩りがまた一人
ここへ来たそうだ

あっ

鬼狩り...

女の鬼狩りだ

はっん

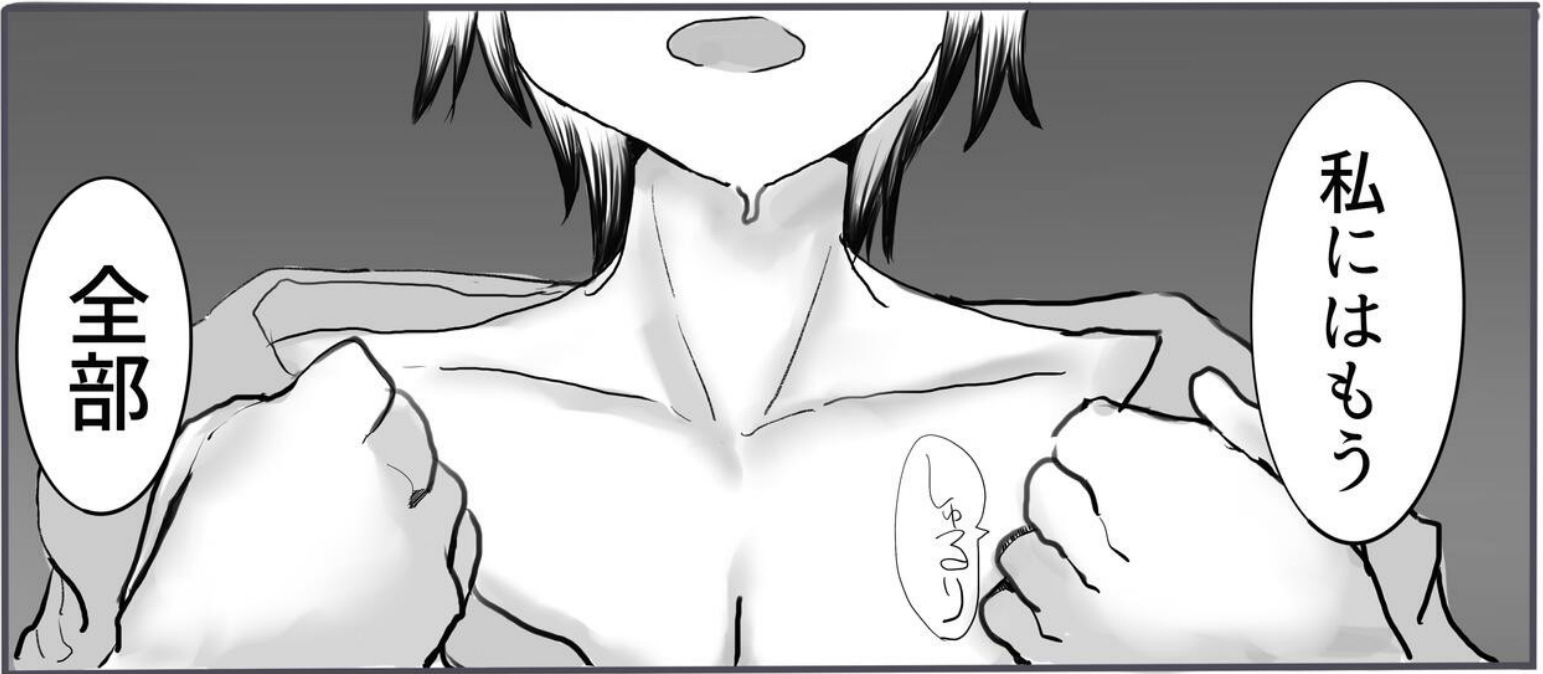
なんだよ
つれない反応だな

そう...ですか

はあ

はあ

顔見知りかも知れんぞ



全部

私にはもう

5000



関係のない

話ですから



?

面白いモノを見せてやるよ



一体何処に連れて行くの？



特別に会わせてやるよ



ねーちゃんに会いたいんだろ



何？この声・・・



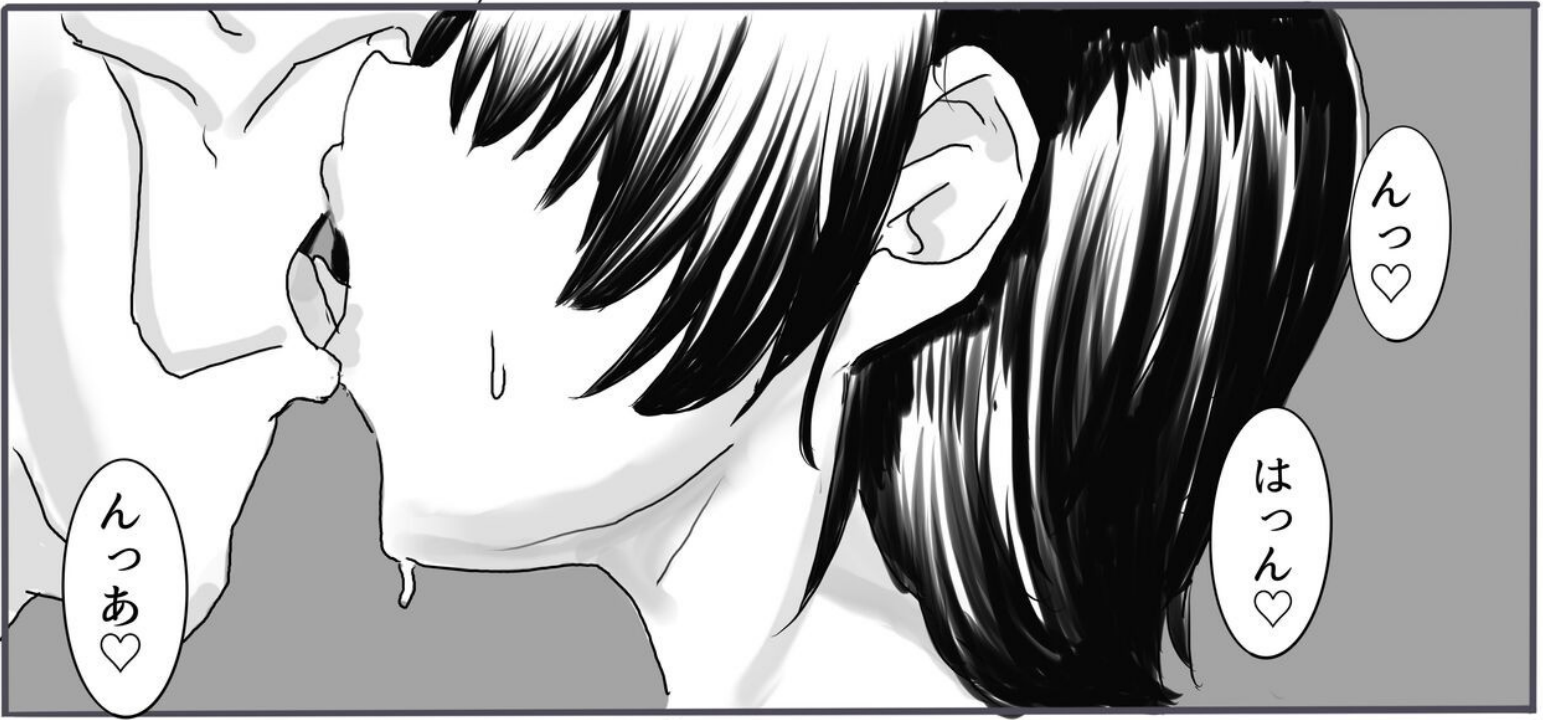
剛鬼様♡

あん♡

あっ♡

はっん♡

あの向こうを覗いてみな



んっ♡

はっん♡

んっあ♡



お姉・様？

これは一体・

んっあ♡

はあ♡
剛鬼様♡

あん♡



お姉様なんで？

そんな鬼に良いようにされているの

あん♡

剛鬼様♡

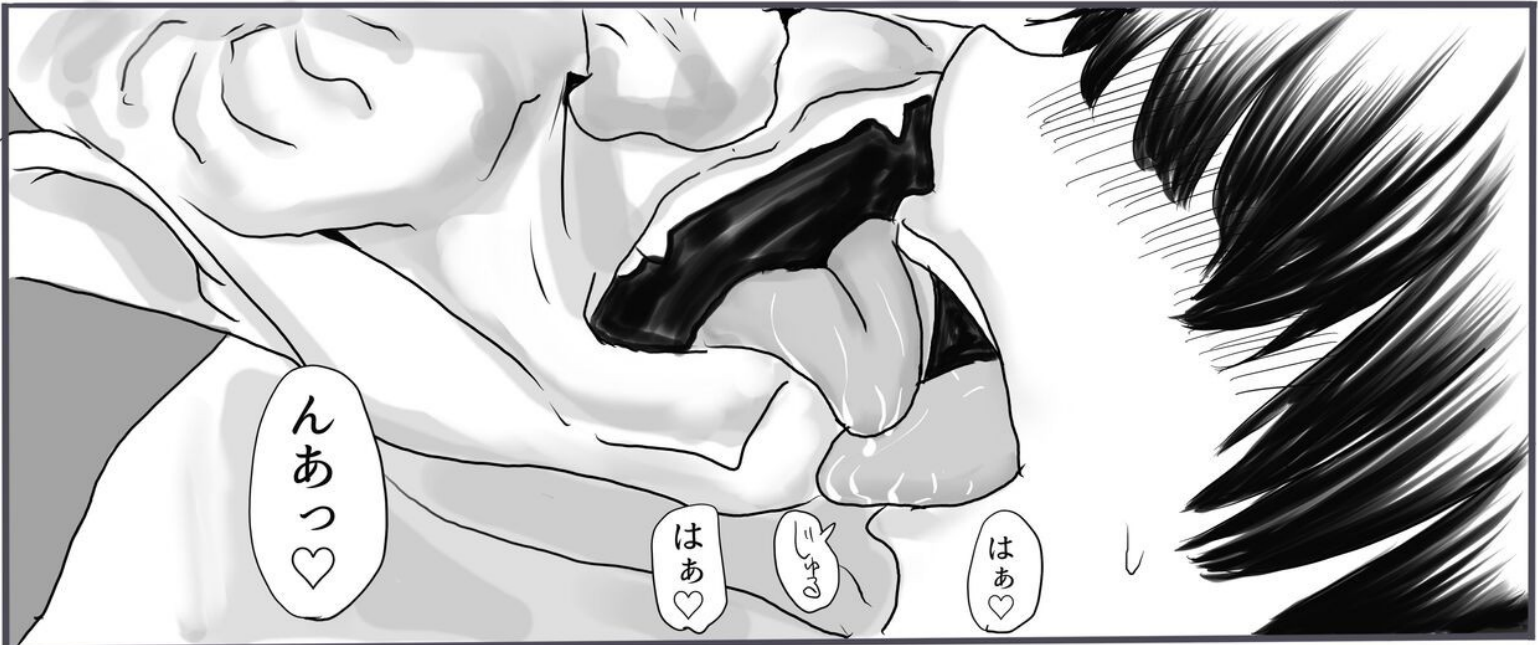
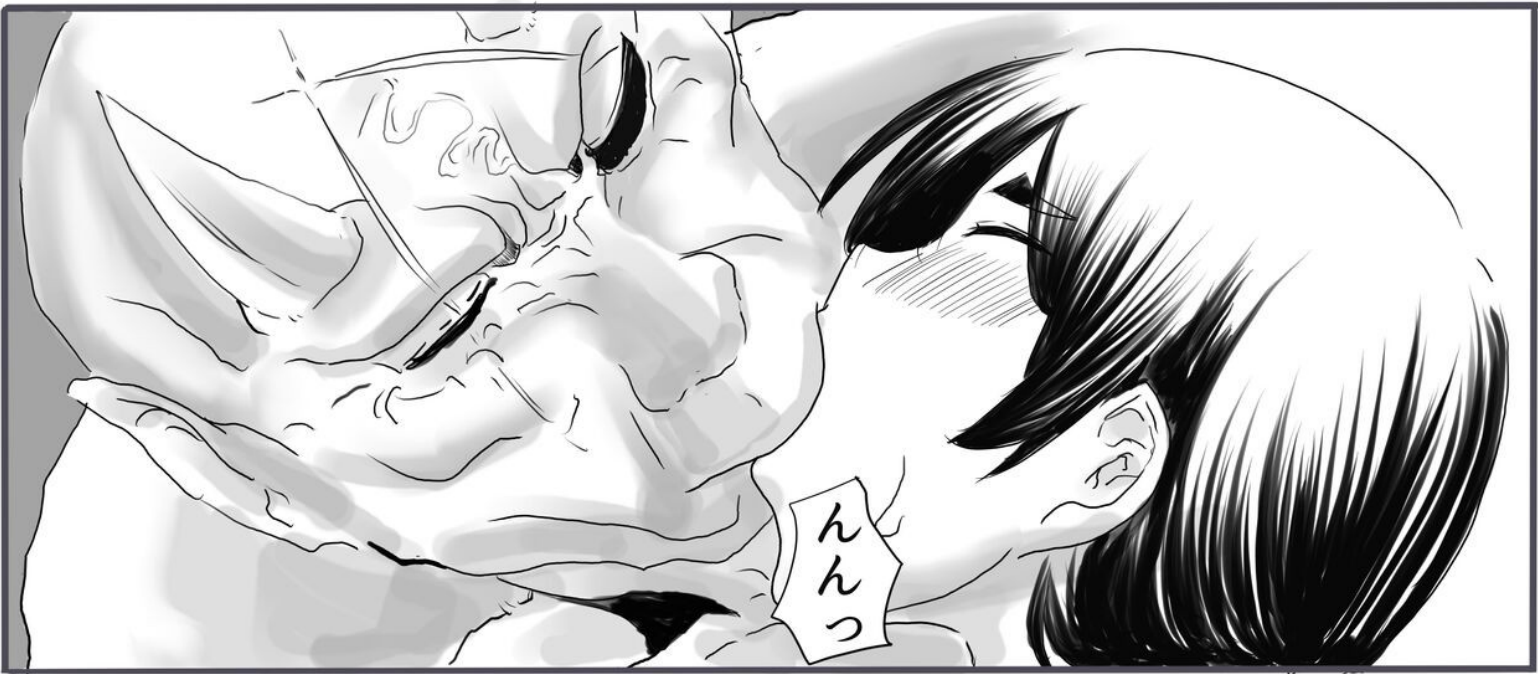
はあ♡

はあ♡

お姉様は凄く強いから
倒せるでしょ？

私の憧れの

お姉様……





もつと腰を振れ八代!

あん♡

あっ♡

はっん♡

ああっ♡

剛鬼様♡
剛鬼様♡



しっかりと
子種を搾り取れ!

ああっ♡



んんっ♡



背中の刺青は
兄貴の女の印だ

あの強えー女が
俺たちの兄貴の前じゃ
ただの雌も同然



お前のねーちゃんは
毎晩洞窟中にえろい声
響かせてるんだよ

お姉・様



やつ!

雌は雄に大人しく奉仕
していれば良いんだよ



あっん♡

見るあの顔を

あん♡

肉の快楽を知った
女の顔だ♡

お前もそうなる♡
雌

!?



ねーちゃんに
気づかれるぞ

騒ぐんじゃねーよ

んっ!



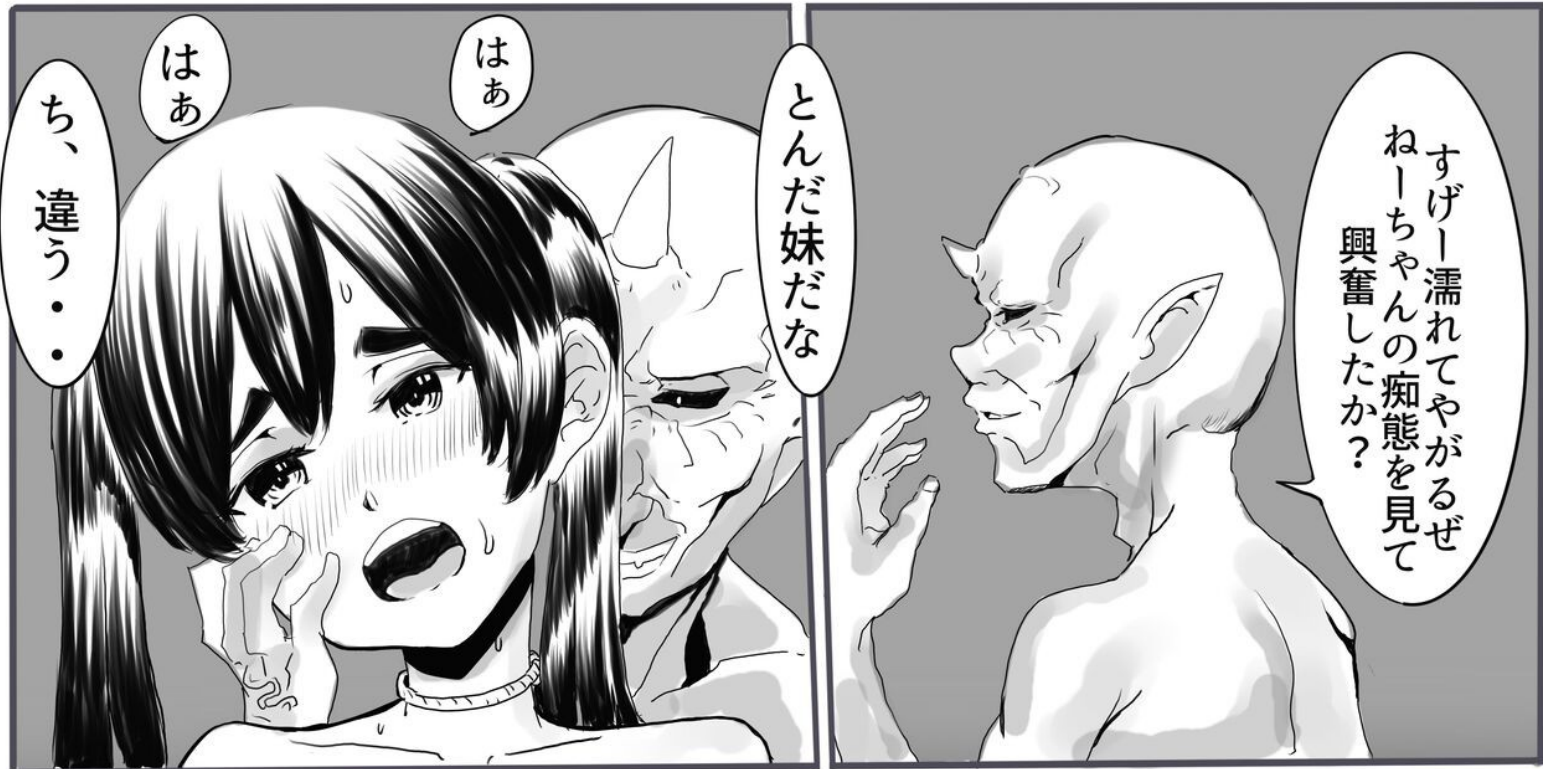
!?

んんっ!

ちゃんときもちよく
してやるからよ

大人しくしてな

んんっ!



すげー濡れてやがるぜ
ねーちゃんの痴態を見て
興奮したか？

とんだ妹だな

はあ

はあ

ち、違う・・・



今楽にしてやる♡

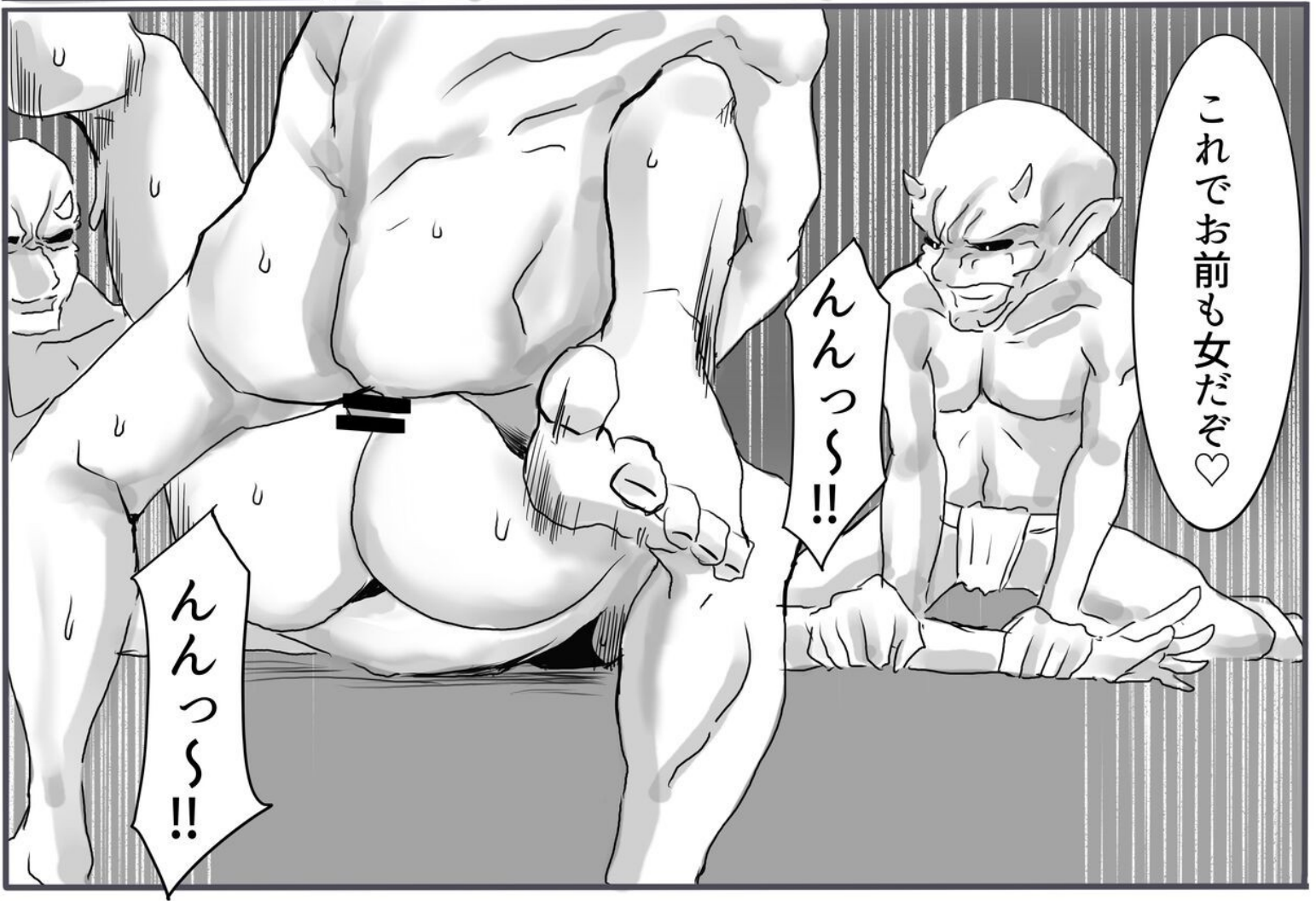
んんっ！

俺たちのち○ぽでな

っ

[Redacted]

[Redacted]





剛鬼様
だめっ♡♡

そんなっ♡
深い♡♡

あん♡

ああっ♡

あん♡

あん♡

もう堪忍して♡
お許し下さい剛鬼様♡

気持ちいいの♡

お姉様そんな声だされたら
私もなんだか体が変に♡



何かお腹の辺りから
競り上がって♡

もう..
だめっ♡

んんっ



射精ぞ!



んんっ
♡
♡
♡



フッ



魚みてーに
ビクビクしてやがるぜ



そら！
たつぷりと快樂を貪れ！

ぐあっ♡

ああっ♡

雌はち○ぽの事だけ
考えてりや良いんだよ！



この生意気な雌肉め！
たまんねらせ♡

いやああ♡♡

その後も雖は小鬼の巢に戻り
小鬼達にその躰を貪られ続けた

あんっ♡

あっ♡

んっ

んっ

敬愛する姉が鬼の手に墮ちた
事実はどうすることもできず

小鬼の陵辱に耐えるしかなかった

躰は穢されても

心までは穢されまいと

射精ぞ

ひたすらに

屈辱に耐えるしか
なかった



外も中もしつかりと
マーキングしておかねーとな

お前は俺たちのモノだ



必ず斬ってやる

絶対に許さない



外道共め

くうっ

きつと手練の仲間が
助けに来る

ああんっ♡

それまで何としても

耐えるんだ!

だめだつまた
凄いのが昇つて♡

私の事を追い込んで♡

イツちまいな
小娘♡

はん♡

はっ♡

んっ♡



んっあああああ♡♡

ズー



はあ♡

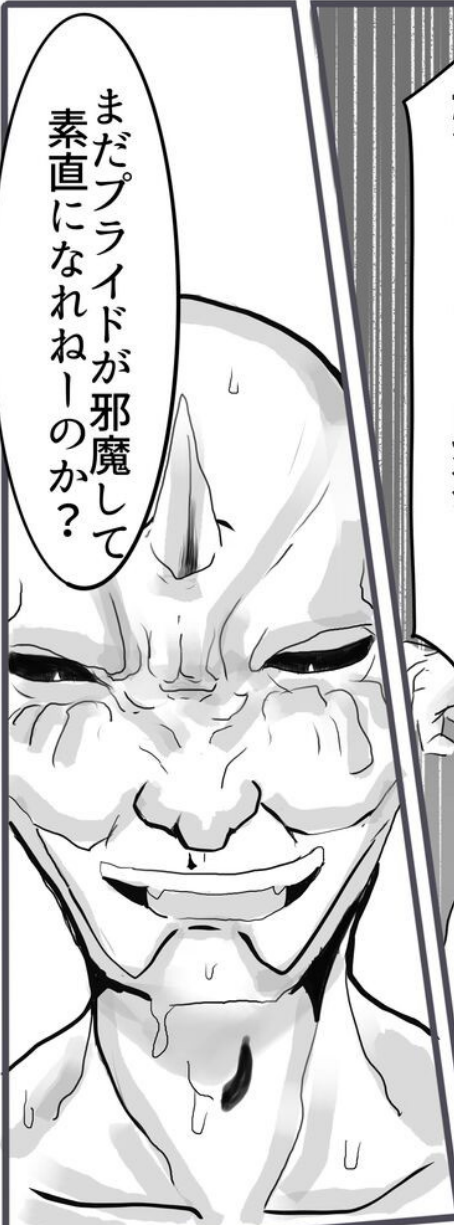
はあ♡

ああ♡

誰か助けて...

こんな事一体いつまで
続くんだ

クッ



まだプライドが邪魔して
素直になれねーのか？

もつと俺たちに
媚びてみる雌猿が！

あつん
やめてっ

ああっ

オラもつと腰振れ！



雛



？



俺たちの肉奴隷が

まだ気高い侍気取りか？

んっ

んっ



お姉・・様



雛・・



立派になったわね

これならちゃんと孕めそう♡

えっ？



ごめんなさい
私が弱いばかりに
雛をこんな目に合わせて
しまうなんて

いいんですお姉様
再び会うことができただけで
私は嬉しいです

お姉様一体何処に・・・

ごめんなさい
雛を助けるにはもう
これしかないの

？それはどう言う・・・

そいつがお前の妹か

大鬼！

中々いい面構えだ

反抗的な目だな

俺が憎いか？



剛鬼様どうか我が妹にも
剛鬼様の子種をお恵みください

なっ!?



お姉様何を言っているの!?

正気ですか!?

雛もお願いなさい
それともこのまま
小鬼の玩具にされるつもりですか?



そんな...

私は

我が子種くれてやる

孕んでみせろ



お姉様!
助けてっ!

いやあああっ!

見事孕めたなら
お前も我が妻として迎え入れよう

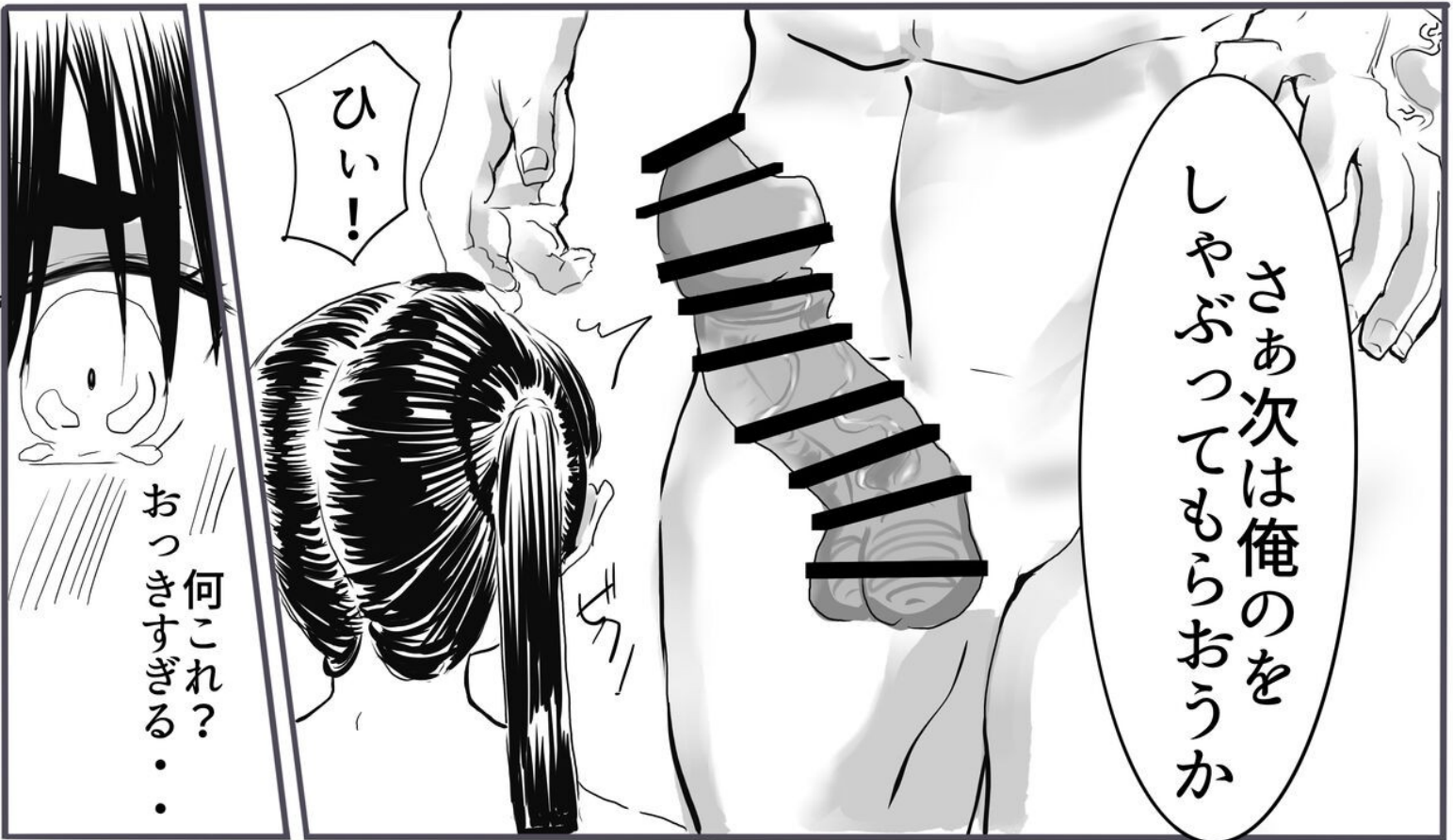


やだっ!
やめてっ!

ああっ♡

♡♡♡♡♡







んっ

んっ

お姉様を救ってみせる！

そして必ず



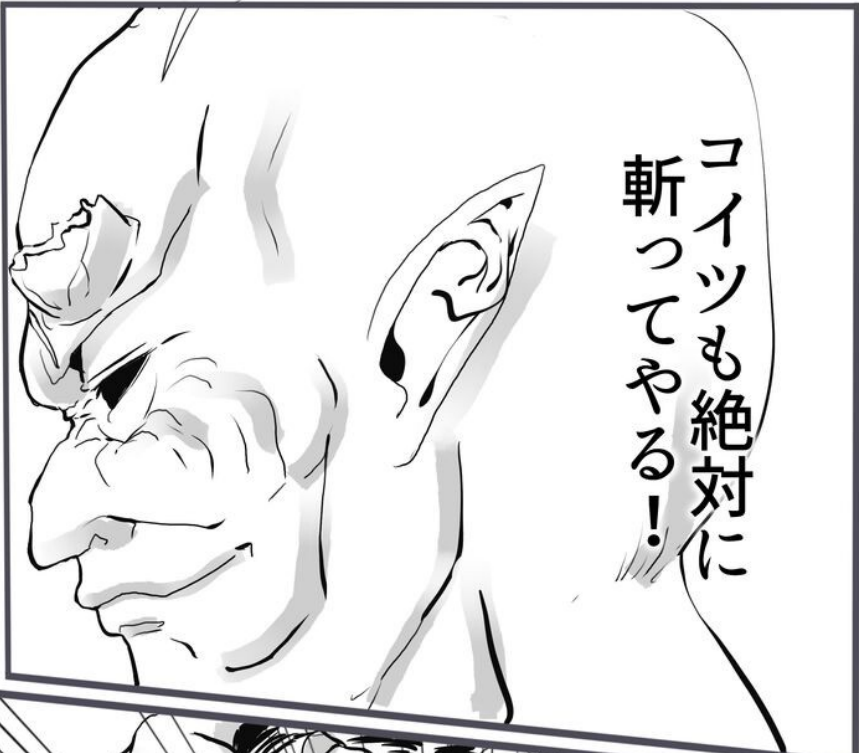
私は屈しないぞ

こんな肉欲なんか



んんっ

桐生院の名にかけて



コイツも絶対に
斬ってやる！



零こぼしてはダメよ
全て飲みなさい♡



射精ぞ

んんっ！

クッ
ッ



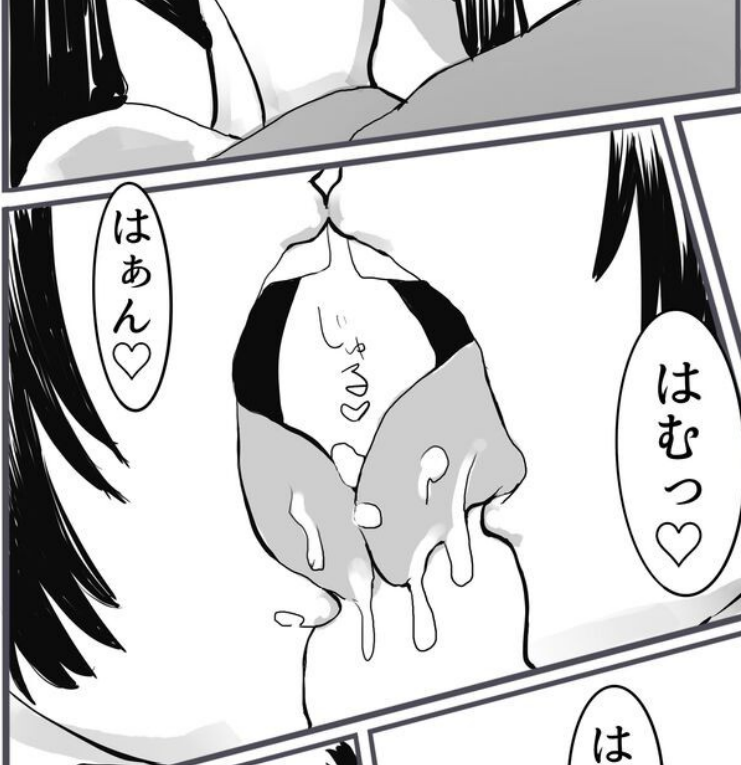
んんっ♡

零しちやだめ♡



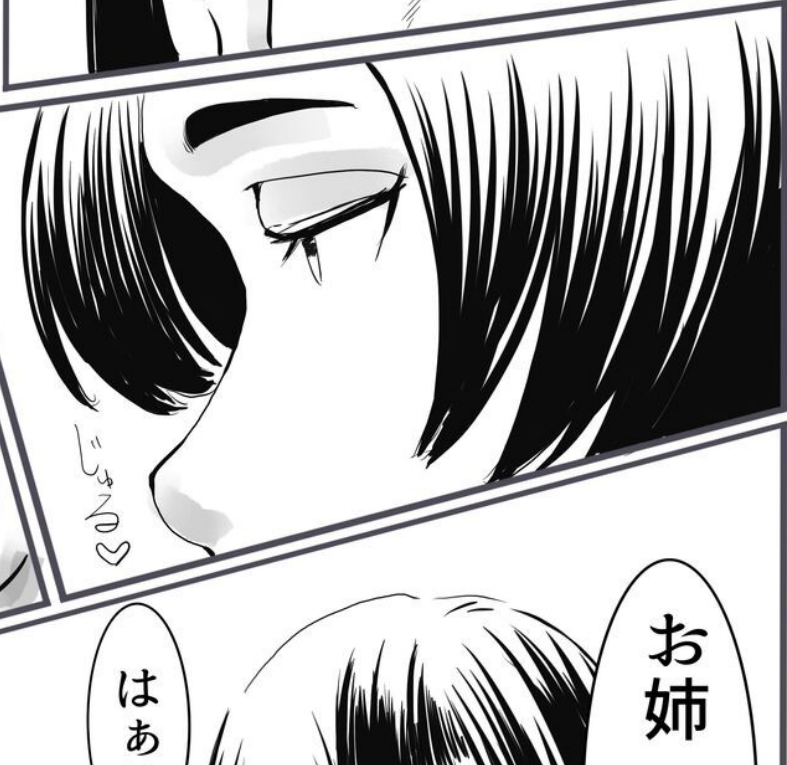
こんなっ

濃くって飲めないよっ



はあん♡

はむっ♡



じゅん♡



次は一人で
飲めるようにね♡

はあ♡

はあ♡



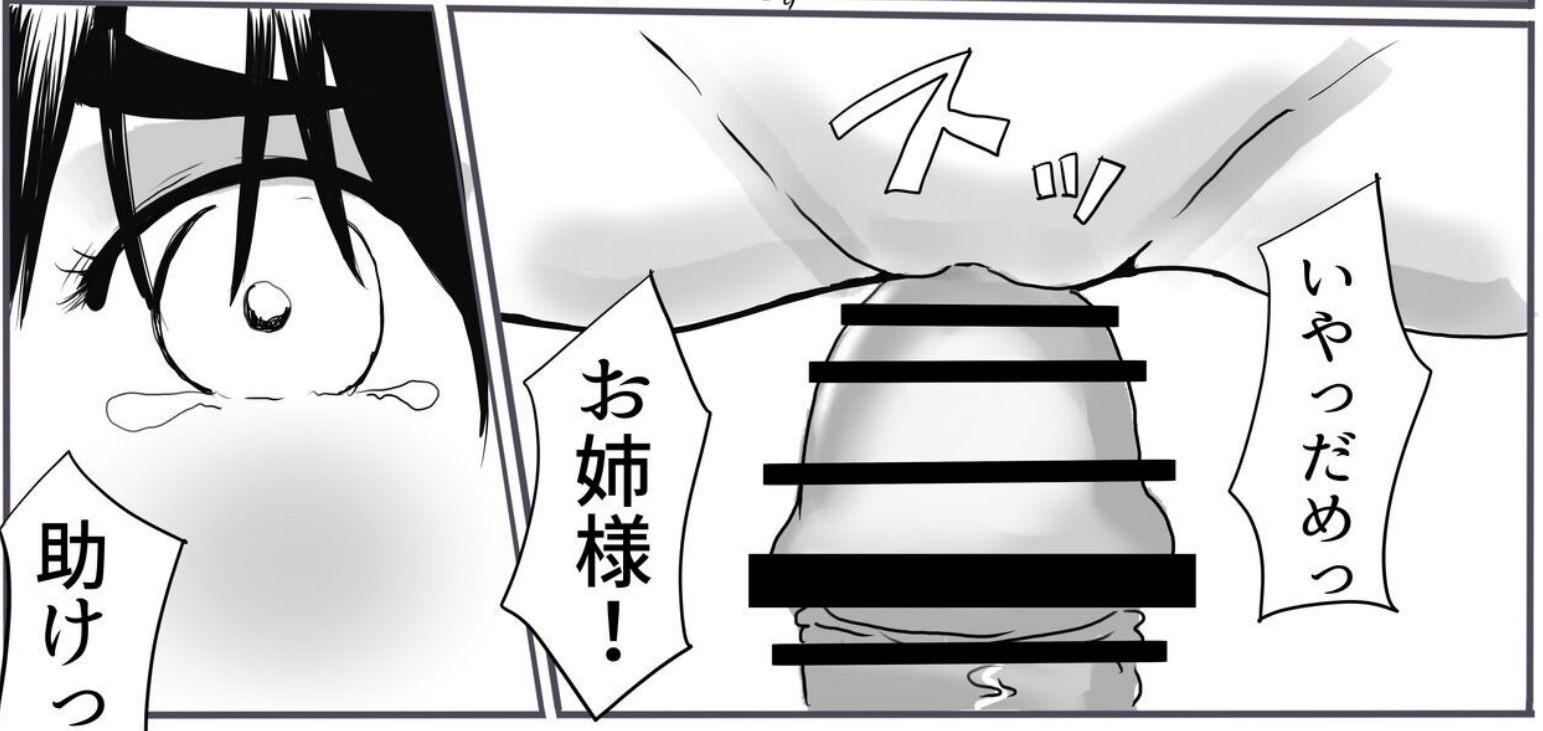
お姉・・様



さあ受け入れる準備は出来たか
小娘

ちよつ待って

こんなおつきいの無理よ!



いやつだめつ

お姉様!

助けつ

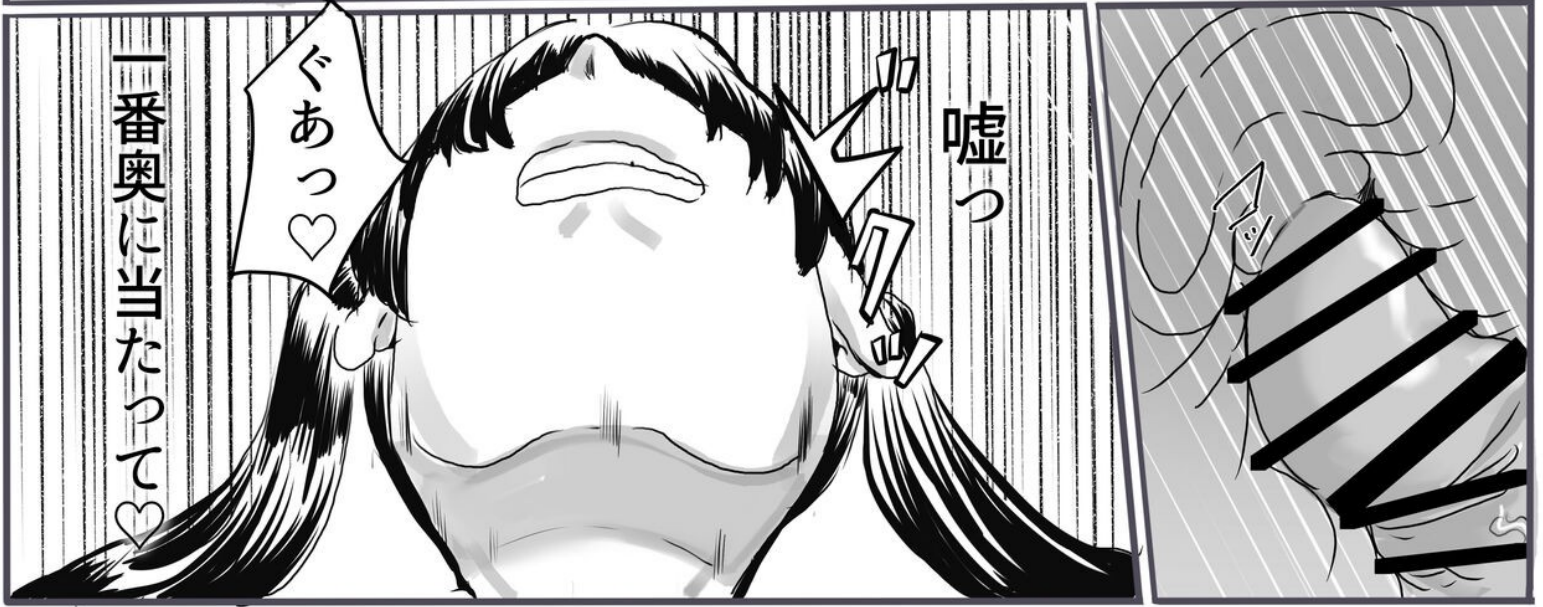
下!!!



あああっんっ♡

本当に入って

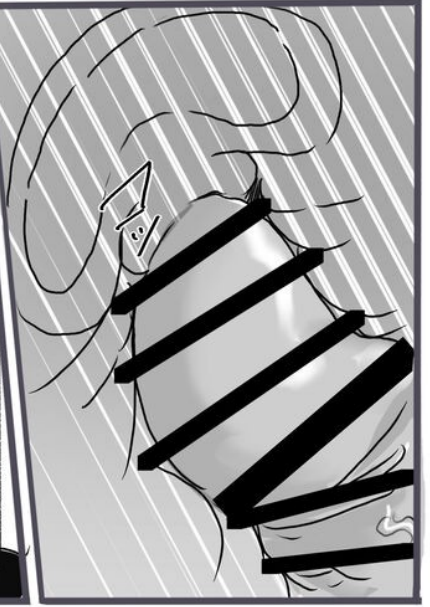
アッ アッ



ぐあっ♡

嘘っ

一番奥に当たって♡





どうだ俺様のち○ぽの味は！

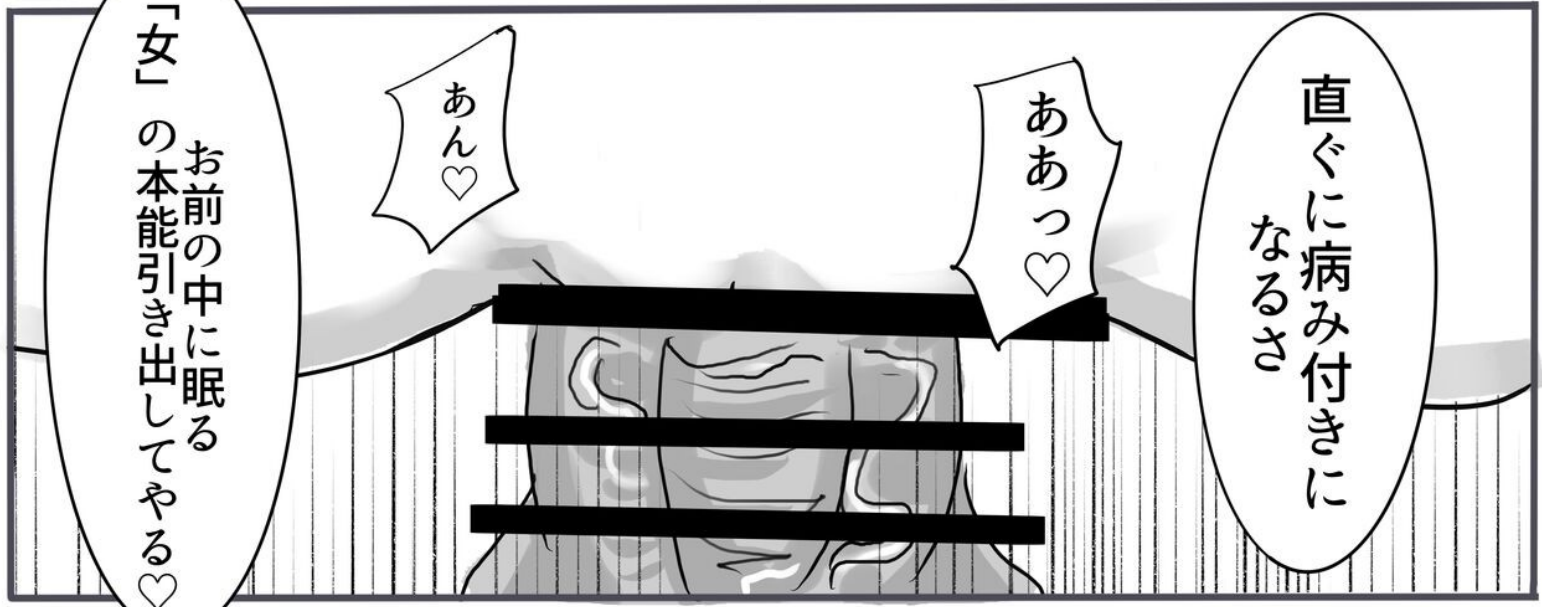
小鬼とは比べ物にならないだろう

あっんっ♡

あっんっ♡

やっめろっ！
動くな♡

く、苦しい♡



直ぐに病み付きに
なるさ

ああっ♡

あん♡

「女」のお前の中に眠る
の本能引き出してやる♡



わ、私は剣を持った時
女など捨て去った

はあん♡

ああっん♡

肉欲などに屈しない!

小鬼とはまるで違う...

私の抵抗を容易に押し除けて♡

深くって
みっちり

私の事を快樂で

支配しようとして...

んんっ♡

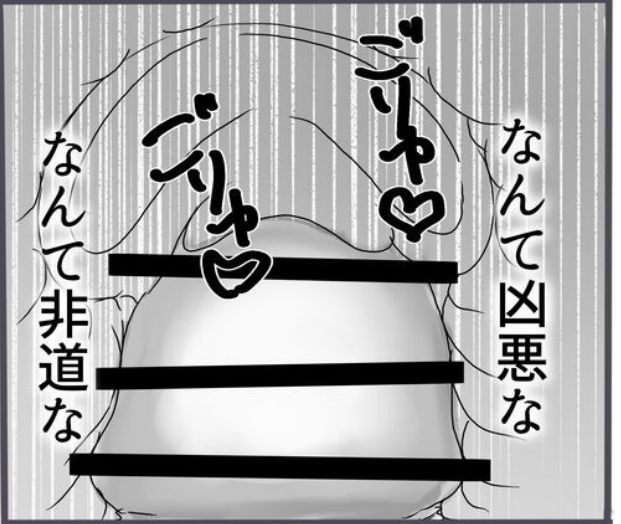


負けちゃだめだ

はあっ♡

はあっ♡

私は名門桐生院の侍



なんて凶悪な

ぐりゃ♡

ぐりゃ♡

なんて非道な

今は耐えるんだ

はんっ♡

あん♡

んあっ♡

ああっ♡

はんっ♡

あん♡

だめっ
我慢できない♡

キャ♡

んっ♡
んっ♡

こんな逞しいモノで
突き上げられたら♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

私は女になるしか

ひゃん♡

弾ける♡

ああっんっ♡





射精ぞ！
子宮で受け止める！

あぁっぐっあぁぐっ♡

トクッ
クッ



気持ちいい♡

はあ♡

はあ♡



頭の中、真っ白に...

んんっ♡

その後も剛鬼は休む事なく
雛の躰を貪り続けた

やっ♡

もうだめっ♡

お願い許して♡

気持ちいいのはもうだめ♡

雛の心から反抗の意思を
徹底的に排除する為に

雛は快楽の苦しさから逃れようと
必死に身をよじり逃れようとするが
圧倒的力の前には虚しい抵抗だった

子宮は丹念に突き上げられ
少女の躰は排卵を促され

んっ♡

あん♡

あん♡

んっ♡

少女の意思に反して
躰は鬼の子を孕む準備を始める

自身がただの無力に犯され
「女」である事を
思い知らされた

んっあぁあぁんっ

快楽の槍は少女を
容赦なく貫き一瞬の絶頂と
とめどない疲労感を与える

宿敵に深い快楽を与えられた事に
屈辱と罪悪感を覚えたが同時に
一人の「女」として躰が満たされた満足感もあった

鬼狩りの名門桐生院家に
産まれたモノとしての
プライドが唯一少女を支えていたが

快楽に墮ちるのはもはや
時間の問題であった

はっ♡


はっ♡



雛は甘えん坊さんだな
やれやれ



お父様
抱っこ♡



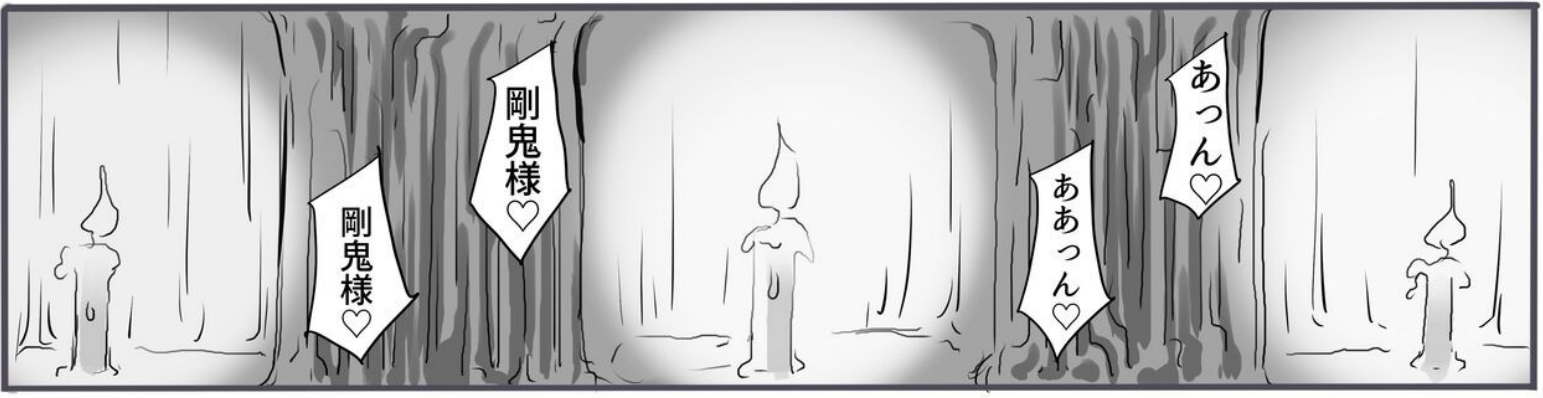
雛はちゃんと立派な侍に
なれるかな？



おいで雛



なるもっ♡



剛鬼様♡

剛鬼様♡

あぁっん♡

あっん♡



はっん♡

あっん♡

ふん、生意気な雌ネコが
ようやく懐いたか

よく頑張ったが
所詮は「女」ち○ぽの味を知れば
子を孕むという本能には逆らえん



女は孕む事だけ
考えてりゃいいんだよ！

キュン

鬼の子をその躰に宿し産み落とせ！
孕めっ



知らなかったなんて
こんな世界があつたなんて

お姉様が鬼に屈した理由が
今わかった

はあ♡

はあ♡

こんな気持ちいい事知ったら
もう戻れないよ♡

近くに湧いた温泉



桐生院の鬼狩り姉妹が
温泉で奉仕とは贅沢だな

堪らねーぜ

ああ悪くないぞ八代
お前の胸は心地いいぞ八代

剛鬼様如何ですか？
いかが

健気な胸部の奉仕も
悪くないな

雛

私達姉妹はあなた様のモノ
何なりとお申し付け下さい♡



今度はしっかりと飲みそうだな

んっ♡

んっ♡

しゃぶるのが一段と上手くなったな



んっ♡



射精ぞ



えらいぞ

んっあー♡

全部飲めた様だな



んっ♡

んっ♡



雛、お前も二度と剣を持つ事は許さん！

我が妻となり生涯を俺に捧げよ！

研鑽した桐生院の誇りも捨て去れ！

ああっん♡

あん♡

はっ♡

んっ♡



見返りに極上の快楽をくれてやる

誓います剛鬼様♡

桐生院を捨てあなた様の妻に♡

鬼の子を孕ませて♡

♡♡♡♡



はあ♡

はあ♡

お姉・様♡

雛とつても素敵だったわよ

トロ
剛鬼様の逞しいお○ぽ
気持ちよかった？

もうすっかり「女」なのね♡



大丈夫よ
きっと鬼の子を身籠れるわ♡

私達は女としての役目を
果たしましょう♡

数ヶ月後

雛のお腹も随分大きくなったわね♡

もう時期臨月です

雛、脱いで
臍をよく見せろ



かしこまりました

はい♡

剛鬼様♡





背中も見せろ

よく育っているな



はい



はい剛鬼様
鬼に繁栄を♡♡



その刺青は俺の
女である証だ
裏切ることも逃げる事も
許さんぞ

出産の時

はあ♡

ああ♡産まれる

鬼の赤ちゃん
外に出たが♡

ああ♡
凄にお腹で暴れて♡



雛っ頑張るのよ♡

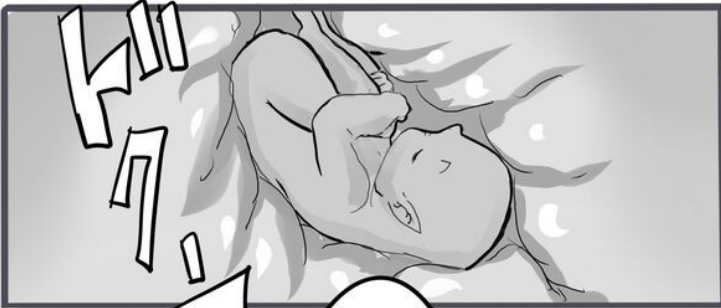
お姉ちゃんが
ついてるからね♡

はあ♡

はあ♡

ああ♡お姉様♡
私本当に鬼の母親に♡





我が宿敵を支配する瞬間は
鬼狩り...



やはり堪らん



ぐっああつああつ
♡♡♡♡

さあ今まで鬼を斬った数だけ
産んで育てろ!

その一生を鬼に捧げよ!

まさか桐生院家の当主様が
直々にお出でなされるとは驚きました



身内が不甲斐ないばかりに
とんだご迷惑を
申し訳ありません

後は私が責任を持って
全て片付けますので
ご安心ください

何と心強い

どうか我が村をお救いください

名門桐生院家現当主
桐生院 せつな 刹那

鬼狩り様

続

六